

白石峠の現道の問題点

白石峠は、幅員狭小区間、平面線形不良、縦断勾配不良箇所が複数確認されています。特に縦断勾配が8%を超える箇所があり大型車両等の走行に支障をきたしています。また、峠区間での事故が発生しており、交通の難所となっています。

■現道の状況写真



トンネル内での大型車のすれ違い。幅員が狭く余裕がない。



事故発生箇所。カーブがきつく見通しが悪い。



路面勾配が急なため冬期走行の難所。



住田町側トンネル出口付近。すれ違い時の減速状況。

■現道の縦断勾配

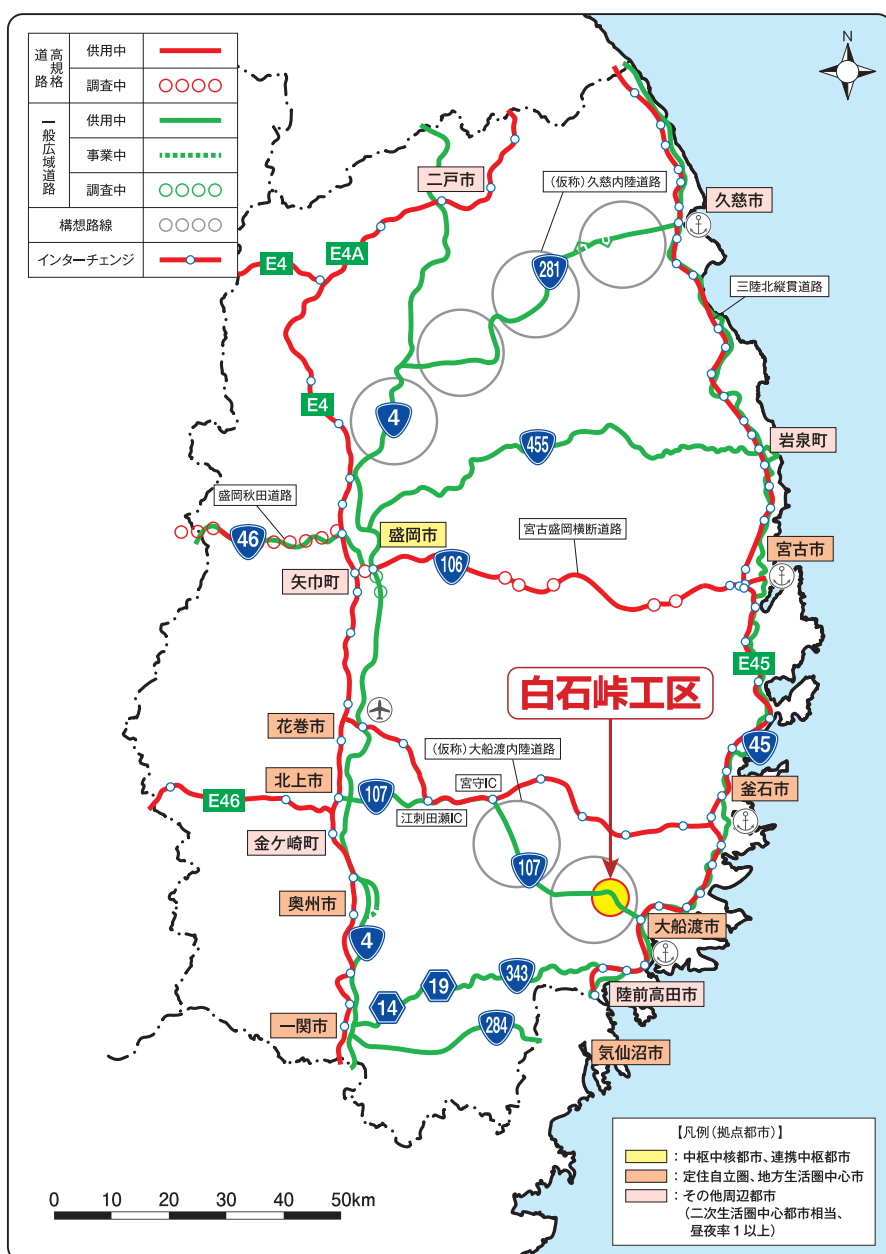
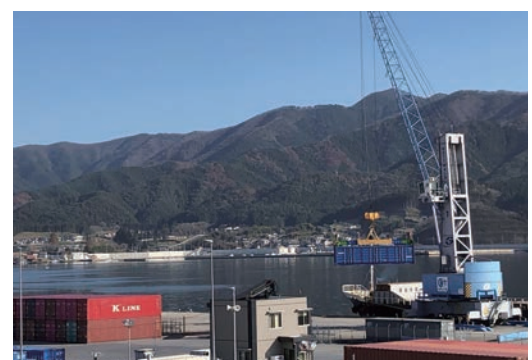
白石トンネルの大船渡市側トンネル坑口から1=8%以上の急勾配が続き、事故が発生する等安全で円滑な交通の支障となっています。



岩手県新広域道路交通計画

■広域道路ネットワークに位置付ける路線の概要

令和3年6月に県が策定した「岩手県新広域道路交通計画」において、一般国道107号を「高規格幹線道路や地域高規格道路を中心とした災害に強い道路ネットワークの構築」、「内陸と沿岸を結ぶ道路や都市間交流を支える道路ネットワークの強化」を基本方針に位置付けました。



■三陸沿岸道路との関係性

三陸沿岸道路の完成により、災害時にも寸断しない強靱な道路が確保されました。今後は、一般広域道路との連携強化により一層の三陸沿岸地域の安全・安心確保と、災害時における確実な緊急輸送や路線の代替性を確保し、救急医療体制を盤石なものとする必要があります。

当白石峠工区の整備により、三陸沿岸の縦軸と一体となり、道路ネットワークの強化を推進していきます。

岩手県 沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター

〒022-8502 岩手県大船渡市猪川町前田6-1 TEL.0192-27-9919 FAX.0192-27-3225

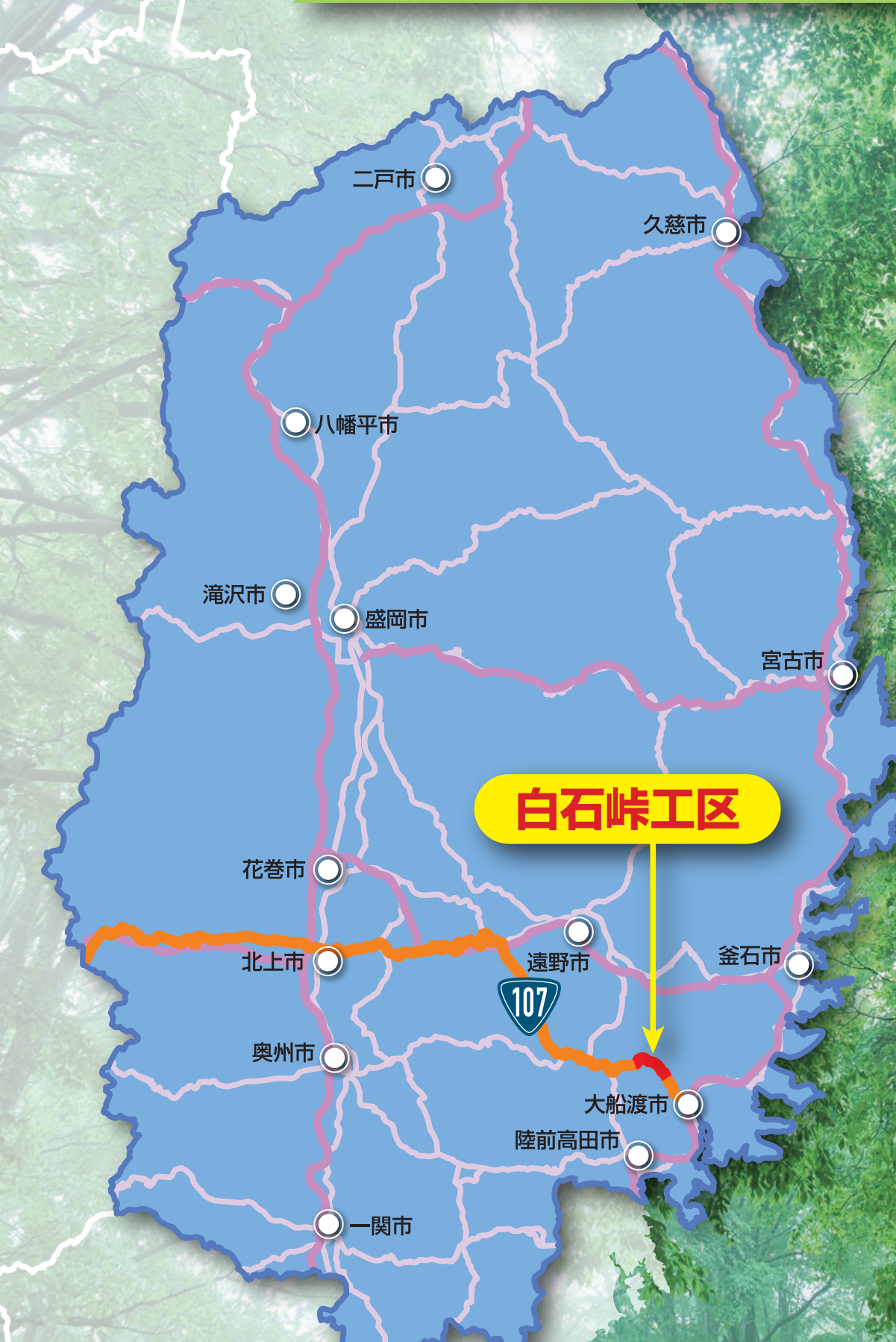
ホームページ https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/index.html

発行：令和4年10月

一般国道107号

しらひこぎ

白石峠工区



路線の位置付け

■路線の概要

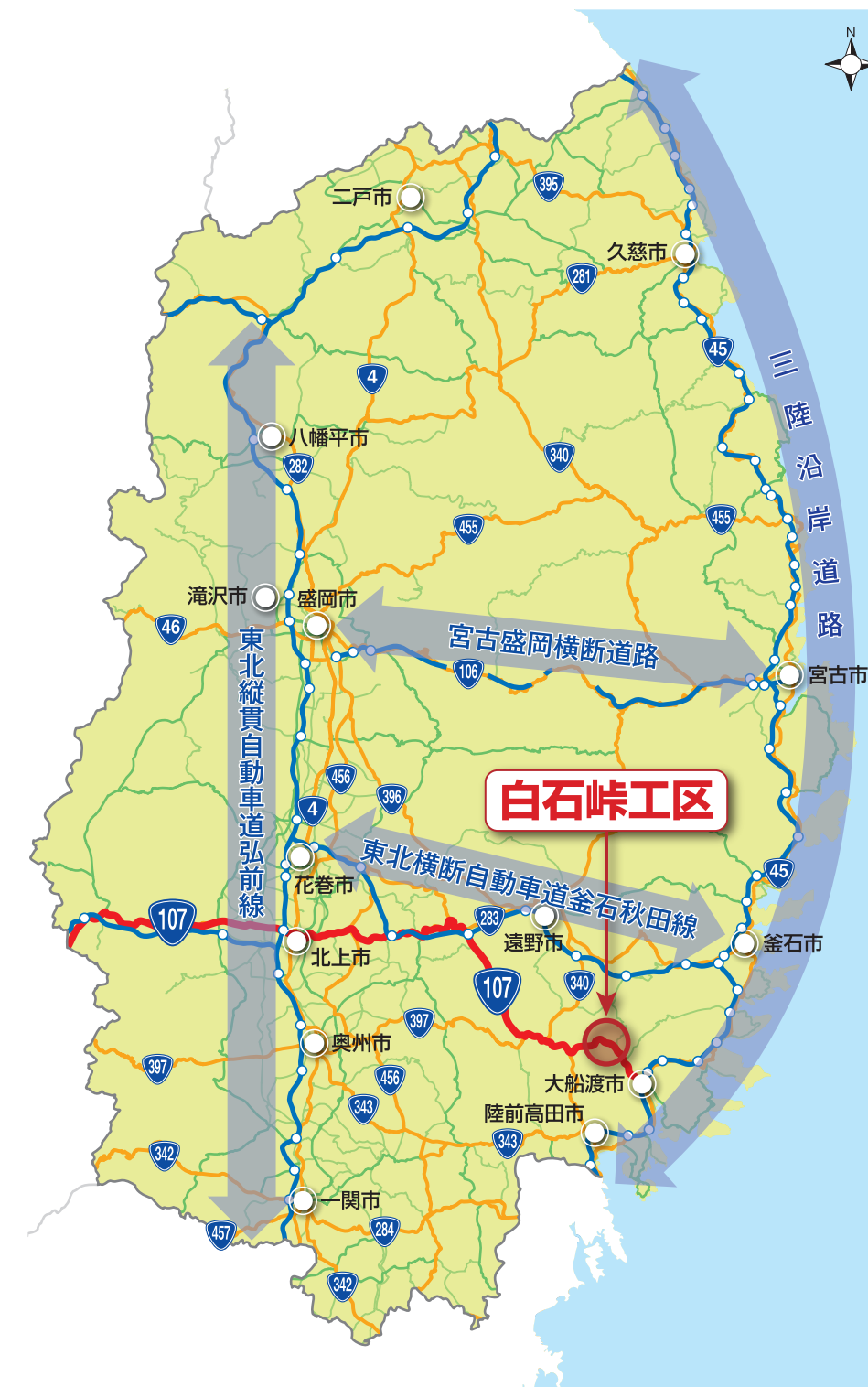
一般国道107号は、大船渡市を起点とし秋田県由利本荘市に至る道路で、道路ネットワークの構築、物流、救急医療等において重要な役割を担う主要幹線道路に位置付けられています。

当路線は、重要港湾である大船渡港と中枢中核都市である盛岡市や産業集積が進む県南地域を結ぶ物流路線であり、通常時、災害時を問わず安定的な輸送の確保が求められています。

岩手県地域防災計画（令和2年5月29日現在）において、緊急輸送道路の第1次路線に指定されており、岩手県広域防災拠点配置計画における後方支援拠点を有する遠野市や北上市へアクセスする道路です。

■社会経済情勢等の状況

「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える基盤整備が整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としています。この中で、道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するための基幹道路整備や、緊急輸送道路等の防災機能の強化及び、日常生活を支える安全、安心な道づくりのための緊急輸送ルートの整備、物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するための内陸部と物流拠点である港湾を結ぶ路線整備を進めることとしています。



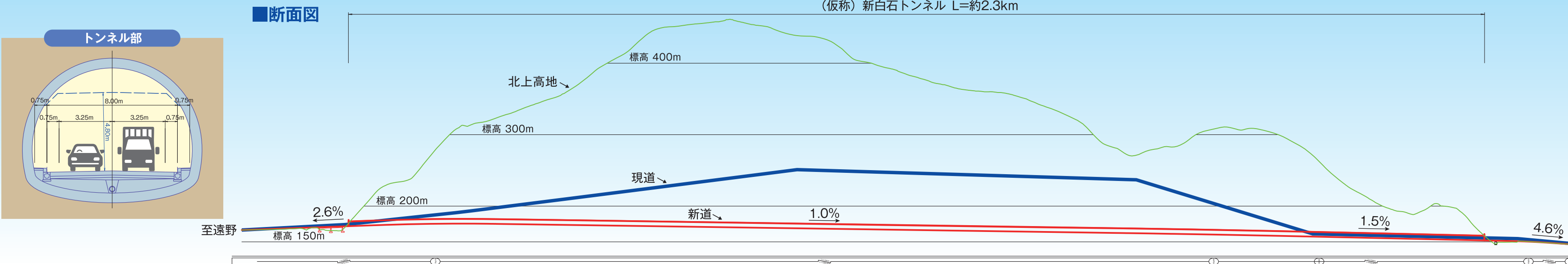
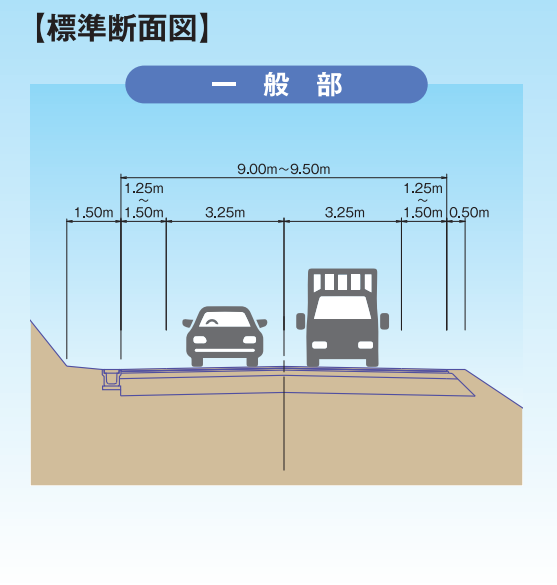
コラム

白石峠に旧白石トンネル（隧道）が掘られたのは1885年のことである。盛街道の大船渡市と水沢を繋ぐ岩手県で初のトンネルとして沿岸地区と内陸を結ぶ商業、文化交流に重要なトンネルであった。旧白石トンネルは、幾多の補修工事を経て1967年までの82年間にわたり重要な役割を終え、現白石トンネルへとバトンを繋いでいる。現白石トンネルは、延長L=808mで1967年に建

設され、2022年の現在に至るまでの55年間、社会資本の基礎を築く高度経済成長期を支えてきた。建設ルートは、旧白石トンネルの約300m北側を通り、大型車両の走行に耐える規格構造となっている。3代目となる新白石トンネルは、重要港湾大船渡港と県中央部を結び、40ftコンテナに対応した道路として、物流、地域振興を支援し新たな時代を切り開く道路事業として期待されている。



一般国道107号 白石峠工区の事業概要



【計画概要】

計画延長	L=2,700m
計画幅員	一般部 W=6.5(9.0~9.5)m トンネル部 W=8.0m
設計速度	V=60km/h
最小曲線半径	R=2,000m
最急勾配	i=4.6%
道路区分	第3種第2級
主要構造物	トンネル L=約2.3km 橋梁 L=48m

整備効果

■物流・産業振興を支援する道路ネットワークの強化

大船渡港は、年間280万トン以上の取引量があり、岩手県内の港湾のうち全取引量の55%を扱う重要港湾です。当路線の改良により、この重要港湾大船渡港と内陸を結ぶ物流が円滑となり、大船渡港の持つポテンシャルを最大現引き出すことが可能となります。

また、緊急輸送道路の第1次路線として、平時時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が実現します。

■災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築

東北自動車道金石秋田線の代替性の確保により、災害時等の広域的な道路ネットワークの多重性が強化されます。

また、トンネル整備により急カーブ、急勾配が連続する峠区間の課題を解消し、安全で円滑な交通機能の確保が図られます。

内陸と沿岸を結ぶ道路ネットワークの強化

